

国語 入試問題に準じた問題(記述)

※次の文章を読んで後の問いに答えなさい。

電話口へ呼び出されたから受話器を耳へあてがって用事を訊いて見ると、ある雑誌社の男が、私の写真を貰いたいのだが、いつ撮りに行って好いか都合を知らしてくれろというのである。私は「写真は少し困ります」と答えた。

私はこの雑誌とまるで関係をもっていなかった。それでも過去三四年の間にその一二冊を手にした記憶はあった。人の笑っている顔ばかりをたくさん載せるのがその特色だと思ったほかに、今は何にも頭に残っていない。けれどもそこにわざとらしく笑っている顔の多くが私に与えた不快の印象はいまだに消えずにいた。それで私は断わろうとしたのである。

雑誌の男は、卯年の正月号だから卯年の人の顔を並べたいのだという希望を述べた。私は先方のいう通り卯年の生れに相違なかった。それで私はこう云った。――

「あなたの雑誌へ出すために撮る写真は笑わなくてはいけないのでしよう」

「いえそんな事はありません」と相手はすぐ答えた。あたかも私が今までその雑誌の特色を誤解していたごとくに。

「当り前の顔で構いませんなら載せていただいても宜しゅうございます」

「いえそれで結構でございますから、どうぞ」

私は相手と期日の約束をした上、電話を切った。

中一日おいて打ち合せをした時間に、電話をかけた男が、綺麗な洋服を着て写真機を携えて私の書斎に這入って来た。私はしばらくその人と彼の従事している雑誌について話をした。それから写真を二枚撮って貰った。一枚は机の前に坐っている平生の姿、一枚は寒い庭前の霜の上に立っている普通の態度であった。書斎は光線がよく透らないので、機械を据えてからからマグネシアを燃した。その火の燃えるすぐ前に、彼は顔を半分ばかり私の方へ出して、「御約束ではございますが、少しどうか笑っていただけますまいか」と云った。私はその時突然微かな滑稽を感じた。しかし同時に馬鹿な事をいう男だ

という気もした。私は「これで好いでしよう」と云ったなり先方の注文には取り合わなかった。彼が私を庭の木立の前に立たして、レンズを私の方へ向けた時また前と同じような丁寧な調子で、「御約束ではございますが、少しどうか……」と同じ言葉を繰り返した。私は前よりもお笑う気になれなかった。

それから四日ばかり経つと、彼は郵便で私の写真を持って来た。しかしその写真はまさしく彼の注文通りに笑っていたのである。その時私は中が外れた人のように、しばらく自分の顔を見つめていた。私にはそれがどうしても手を入れて笑っているように拵えたものとしか見えなかったからである。

私は念のため家へ来る四五人のものにその写真を出して見せた。彼らはみんな私と同様に、どうも作って笑わせたものらしいという鑑定を下した。

私は生れてから今日までに、人の前で笑いたくもないのに笑って見せた経験が何度となくある。①その偽りが今の写真師のために復讐を受けたのかも知れない。

彼は気味のよくない苦笑を洩らしている私の写真を送ってくれたけれども、その写真を載せると云った雑誌はついに届けなかった。

夏目漱石『硝子の中』より

問 — ①とありますが、「復讐を受けた」とはどのようなことですか。45〜55字で答えなさい。


《解答例》

その①

れ	せ	今
て	て	ま
し	き	で
ま	た	人
っ	た	の
た	め	前
と	に	で
い	、	笑
う	自	い
こ	分	た
と	の	く
。	写	も
	真	な
	が	い
	修	の
	正	に
	さ	笑
	れ	っ
	る	て
	形	見

このあたりまで表現できれば○

その②

で	せ	今
報	て	ま
い	き	で
を	た	人
受	た	の
け	め	前
た	に	で
と	、	笑
い	自	い
う	分	た
こ	の	く
と	写	も
。	真	な
	が	い
	修	の
	正	に
	さ	笑
	れ	っ
	る	て
	形	見

さらに、「復讐を受けること」を「報い」という言葉にまで持って行けると完璧です！